

中国の動向をお届けします。



北京通信



vol.10

福井商工会議所主査(中国日本商会 出向)

藤原 卓也

“こだわり”と“安全”の更なる高まり ～中国「食」市場～

嗜好の多様化が進む北京市

先日、北京市内のマクドナルドを訪れた時、新メニューとして雑穀のおかゆや豆乳が提供されているのを見かけた。中国人の健康志向を後押しするためヘルシーメニューを強化したのもと思われる。日本のマクドナルドではバーガー類しか目になかっただけに印象的だった。

中国マクドナルドは、日本でも報道された期限切れ肉使用といった不祥事や、人件費・原料の高騰による商品の値上がりなどの影響から客離れが進んでおり、新メニュー導入は人気回復のための戦略と思われる。

北京市においては、所得向上や嗜好の多様化により食へのこだわりが高まっており、有機野菜を使った飲食店や日本食をはじめとする各国料理店が立ち並んでいる。

政府当局は食の安全を重視

近年「食の安全」が国内で重視され、政府当局による取り締

まりが強化されている。平成27年10月に改正食品安全法が施行され、品質管理の更なる強化や厳罰化が盛り込まれ、世界的に見ても厳しい法律となった。

近隣地域の事例を見ると、遼寧省大連市は今年上半年に食品の生産・販売拠点4万7千箇所の安全検査を実施し、違法拠点242箇所を摘発、安全基準に満たない食品664トンを押収した。また天津市では食の安全対策として、残留農薬の量が基準をクリアした野菜を生産する「安心野菜農場」の認定を行っており、本年6月より管理レベルの高い農場に対し報奨金支給が始まった。その他の地域でも中央政府の号令に従い、食品の安全管理が強化されている。

こだわりを満たす

高品質な商品が必要

先日、北京市内のホテルにて日系大手食品メーカーや福岡県、四日市市などの地方企業が出展する「日本業務食材展示会」が開催された。出展していた日

系食品メーカー担当者は、「中国人の素材や味に対する要求が高まり、より嗜好に沿った商品にレベルアップして臨んでいる」と話していた。

『日本品質』という売り文句は、中国ビジネスにおいてステータスになるものと想像していたが、高品質の商品はもはや中国でも当たり前だ。味に対する強いこだわりを満たす商品開発が求められていることを強く感じた。



業務用の調味料や原材料等が多数紹介された展示会

中国日本商会へのお問い合わせは・・・
福井商工会議所 会員サービス課

TEL 0776(33)8254